

学校だより

プラタナス



令和2年6月19日(金)

No.13 市川市立市川小学校
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

やらされる勉強から、ワクワクするような学びへの転換

暑い日が続くようになりました。冷蔵庫にアイスを見つけると幸せな気持ちになってしまうのは、きっと私だけではないと思います。

さて、6月1日にポケモン映画とコラボした“大人なガリガリ君ゴールデンパイナップル味”が発売になりました。「さて何の話？」とお思いになるでしょうが、今回は氷菓『ガリガリ君』にスポットを当ててみることにします。でも、赤城乳業の回し者ではないことを、最初に断っておきます。

『ガリガリ君』と言えば、子どもたちをターゲットとしたワクワクさせる工夫いっぱいの商品を生み出してきました。定番のソーダ味やコーラ味のほか、ナポリタン味、コーンポタージュ味、メロンパン味、シチュー味なんてものもあります。『ガリガリ君リッチコーンポタージュ味』は、入社4年目の26才若手社員が一人で開発し、試作やライン化については2年先輩のやはり若手社員が協力する形で誕生したと言います。このほか居酒屋メニューの、「ガリガリ君」丸ごと1本を入れた酎ハイ「ガリガリ・ラムネサワー」をご存知の方もいらっしゃるでしょう。

とにかくアイディアがいっぱいなのです。この企業の基底にある文化・風土を探ってみますと、『あそびましょ』というのがコーポレート・スローガンのようで、工場内にも掲げられているといます。また、『強小カンパニー』をめざし、『異端の精神』を大切にするといった遊び心が、強さあるいは愛される秘訣のように感じます。



知識や経験の浅い若手社員が活躍できる背景には、次の2つがあるようです。

(1)「働くのは自分のため」という基本的な考え方

親のため、会社や上司のためという場合もありますが、最後は自分のため！

(2) 自分の中で「満足のいく仕事ができただろうか」を自問

一生懸命仕事をして、自分が満足できたなら胸を張っていること！

子どもたちの学びにも共通点があるような気がします。やらされる学びと自分から求めていく学び、どちらがワクワクするのでしょうか。勉強するのは親が喜ぶからではありませんね。つまり、自分で楽しんで学ぶ工夫をしていくことです。そして、そのためのヒントを与えるのが、大人の役割です。

今年度は、これまで以上に基礎・基本を定着させることや学習に軽重をつけることが大事になります。そうした中、学ぶ意欲を引き出し、自主的な学びから主体的な学びへと高めることも忘れてはなりません。そして、学びを学校だけで完結させないために、学びの中に「遊び心」を取り入れながら取り組む家庭学習は、今も、そしてこれからも重要な役割を担っているように思います。家庭だからこそできる、家庭でやっておきたい学習って何でしょう。

話は戻りますが、皆さんは「ガリガリ君」の何味がお好みですか？

第1回学校運営協議会を開催しました



6月8日(月)に今年度第1回目の会議を14名の出席で行うことができました。

校長から学校運営方針の説明があり、承認されました。その後、2月下旬以降の学校の様子や取り組み及び学校連絡日や分散登校、動画配信による学習サポートなどの報告をしました。

通常の授業に戻っていく上での課題についても共有することができました。清掃活動では、児童は雑巾を使いませ

んし、トイレ掃除も行いません。使った教室や器具の消毒も欠かせません。これをすべて学級担任が行うとなると、その負担は計り知れません。もし、ボランティアをしていただける方がいらっしゃればお声掛けくださいとお伝えさせていただきました。

以下に、「学校の応援団」である、委員の皆様を紹介させていただきます。なお、周郷様が委員長を、加藤様が副委員長をお引き受けくださいます。下の13名に校長と教頭を加えた15名で構成します。よろしくお願いいたします。

周郷 啓一 様	元コミュニティサポート委員会委員長
加藤 重徳 様	本校おやじクラブ代表
平出 貴子 様	第2地区青少年相談員
真島 節子 様	市川・真間地区民生児童委員
鈴木 茂 様	市川2丁目第2町会会長
仁茂田篤治 様	本校同窓会長
齋藤 武 様	市川保育園長
大山 徳泰 様	(株)山崎製パンクリエイションセンター長
佐藤 和幸 様	本校PTA会長
鶴岡 晃 様	本校PTA副会長
谷内よしみ 様	地域学校コーディネーター
山田佐知子 様	元市川市公立学校長、前学校評議員
土井 博之 様	千葉商科大学キャリア支援センター課長



辞令が、学校地域連携推進課長から一人一人に手渡されました

データから学ぶ 交通安全

いよいよ毎日通常どおりの授業となります。これまでに以上に登下校の安全を心がけたいと思います。報告書「歩行中の小学生の交通事故」(H30年警察庁統計)を見ると次のことがわかります。自他の命を守る子に！

- ① 一年生の歩行中の死者数は、六年生の8倍
- ② 4月～7月、10月、11月の発生が多い
- ③ 15時台～17時台、7時台の発生が多い
- ④ 下校中・登校中の死傷者が多く、全体の35%強
- ⑤ 横断中が最も多く、横断歩道で39%強

市川駅交差点では、ボランティアの石原さんが見守りをしてくださっています。オレンジの帽子が目印です！

梅雨に関する『○×クイズ』

- ① 梅雨は世界でも日本だけに現れる現象である
 - ② 梅雨の心身不調を解決するためには、梅がよい
 - ③ 雨女雨男が集まる「日本雨女雨男協会」という団体がある
 - ④ 「外は雨模様です」という言葉は、実際には雨が降っていない空を表す
- <答えは次号で>

